

河北新報オンラインニュース
http://www.kahoku.co.jp/
仙台・宮城の広告情報
http://kahoku.shufoo.net/

携帯サイト



ご購入申し込みは
0120-09-3746

オンラインコミュニティ
https://kacco.kahoku.co.jp/

7:00~19:00

KPC
プレゼント
お得情報満載
月刊かほピョンくらぶ
20面に掲載

開店35周年!
いいものより安く!
仙台駅から徒歩15分 オーディオ&ホームシアター専門店
株 仙台のだや
仙台市青葉区北目町5-3 (仙台中央郵便局ウラ)
☎022-266-7761 AM10:00~PM7:00 / 火曜定休日
www.sendai-nodaya.jp

水産物輸出 いろは学ぶ



海外マーケット情報や衛生管理方式を学んだセミナー

加工業者ら対象 気仙沼でセミナー

水産加工業の海外展開をにらんだ「水産物輸出・HACCP(ハサップ)入門セミナー」が19日、気仙沼市魚市場で開かれた。水産加工業者ら50人が参加し、海外のマーケットや国際的な食品衛生管理方式を学んだ。

ジェットロど 衛生管理方式を解説

日本貿易振興機構(ジェトロ)と大日本水産会が主催した。ジェトロ仙台貿易情報センターの寺田佳宏所長が「水産物輸出の基礎知識」と題し、輸出の現状や海外バイヤーとの商談の進め方を解説。ジェトロの支援策も紹介した。

寺田所長は「富裕層が増加する東アジアを中心に、日本食が大人気となっている。世界的には水産加工品の消費が一層拡大する見込みで、積極的に輸出に目を向けてほしい」と呼び掛けた。

大日本水産会の山口隆宏品質管理課長は、水産物輸出に向けた衛生管理の重要性を強調。米国食品医薬品局の衛生管理方式を例に製造工程での危険因子分析や、導入手順などの解説があった。

セミナー開催に協力した気仙沼冷凍水産加工業協同組合の菊田初男組合長は「東日本大震災で失った販路回復に向け、国内が手詰まりなら海外しかない。特に中小企業は力を合わせ、関係機関の力を借りて頑張っていきたい」と話した。

中古住宅の間取りや内外装を一新する「リノベーション」に着目し、7年前からリノベ住宅を手掛けてきた。「古い空間を顧客の要望で造り替える。『こんなに変わるのか』という感動、ギャップが楽しい」と笑う。

立地の良い物件を選べるのがメリットの一つ。駅前の二等地に新築は無理でも、中古マンションなら空気があれば夢がかなう。新築の6〜7割という価格も

エコラ社長

百田 好徳さん(37)



ももた・よしのり 東北工大卒。社名のエコラ(ecola)は熱意や挑戦などを意味する英語の頭文字を並べた造語。仙台市青葉区の自宅に妻、長男と3人暮らし。北九州市出身。

魅力。「この1年、仙台でも急速に関心が高まっていて」と手応えを感じる。リノベーションの現場監督を担う市場は「なくなり」

E かお

リノベ住宅 普及図る

と現在の会社を設立した。12年、リノベーション住宅推進協議会(東京)の東北部会を立ち上げ、初代の部会長となった。現在は理事を務める。市内の不動産業者らとともに、中古物件探しからリノベ工事、住宅ローンまで対応するサービスを提供している。

中古住宅の質を上げるため、品質保証や改修履歴の保管・開示にも力を入れる。リノベを施すことで、新たな資産価値を持った優良な中古住宅を提供していきたい」と意気込む。

ヨーグルト酒 酸味さわやか

みやぎ生協(仙台市)は、県産米の米焼酎を使った2種類のヨーグルト酒(リキュール)を、酒類を扱う県内38店で27日から販売する。

「プレーンヨーグルトのお酒」(税別980円)と「でこぼんヨーグルトのお酒」(同1040円)で、いずれも500ミリ入り、各1000本の限定販売。

同生協は、2010年に角田市産



みやぎ生協、きょう発売

米「まなむすめ」を原料に、熊本県内の焼酎製造会社に依頼して米焼酎「産直べにのほほ」など3種類を開発し、発売した。

プレーンヨーグルトのお酒は「べにのほほ」に、熊本県産ヨーグルト「球磨の恵み」を加え、でこぼんヨーグルトの酒は、さらに熊本特産のデコボンの果汁を入れて甘みを添えた。

みやぎ生協は「2商品とも冷やして飲むと、口の中にさわやかな酸味が広がる」と話している。

みやぎ生協が限定販売する2種類のヨーグルト酒

けいぞい

宮城

中小企業景況 「好転」は11.4%

10月

県中小企業団体中央会は、中小関係者45人に委嘱している情報連絡員による10月の景況をまとめた。「景況が好転した」と回答した割合は前月比2.1%増の11.4%だった。「悪化」は0.5%減の20.4%、「変わらぬ」は1.6%減の68.2%だった。

消費回復の遅れや円安の影響について「店頭販売は低調で、消費者の買い控え、節約志向が反映されている」(花き小売業)。「天候に恵まれ野菜は価格が落ち着いたが、輸入果実類は円安で、3割高になり、販売に苦労した」(青果小売業)との指摘があった。

表面処理業からは「消費税増税の反動減も少なく、スマートフォン、自動車など輸出向けが好調。円安で(今後)輸出



熟練の技が生かされたスマートフォン立て(左)とタブレット端末立て

いちおし 土産

スマートフォン立て

仙台筆筒協同組合(仙台市)

ケヤキ材の表面は漆が重ね塗りされ、重厚感がある。細やかに装飾された飾り金具が前面に取り付けられた幅7.5センチ、高さ2センチ、奥行き8センチの豪華なスマートフォン立ては、インテリアとしても活躍しよう。

販売元の仙台筆筒(たす)協同組合の長谷部嘉勝専務理事(62)は「関係者の間では『日本一の手』と言われている仙台筆筒の熟練の技が凝縮された商品」とアピールする。

熟練の技 若者に照準

商品づくりのきっかけは東日本大震災。津波で機械が流されて廃業を考える業者も出た業界を盛り上げようと、有志が「仙台筆筒の会」を設立。国の補助事業も活用し、技術力を売り込める新商品の開発を進めた。

重視したのは、若い世代へのアピール。県産業技術センターの助言を受け、スマートフォンやタブレット端末用の商品にたどり着いた。

評判は上々で20〜40代の購入者が多いという。5000円程度で積み上げれば、家紋入りの金具も付けられる。長谷部専務理事は「高価なイメージの仙台筆筒を、身近に感じてもらいたい」と話している。

議会だより

(26日・11月会議)

大河原町 人事院勧告に準じた職員給与に関する条例の一部改正、仙南夜間初期急患センターの医療機器購入契約締結など議案6件を原案通り可決、専決処分2件を承認し休会。

柴田町 人事院勧告に準